



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃんNews



令和8年3月9日発行 第13号

多摩市聖ヶ丘1-17-1

電話 042-374-8111

発行者 校長 西田 良児



次年度に向けて

副校長 宮原 興龍

春の足音が近づき、玄関付近の梅も満開を迎えています。校内では、ひな祭りにちなんだ給食が提供され、色とりどりのちらし寿司を、皆おいしそうに食べていました。ひな祭りには、子供たちが毎日を元気に、そして安心して過ごせるようにという願いが込められていると言われていています。本校の子供たちも一つ一つの活動を通して、「できた」「わかった」という喜びを積み重ね、大きな成長を見せてくれています。このことが小学部段階からのキャリア教育につながっていきます。子供一人一人のキャリア発達を大事にして、できることを増やしていけたらと思います。



菜の花ちらし寿司

先日の個別面談ありがとうございました。今年度の振り返りと次年度に向けて様々な情報を共有できたかと思えます。まだまだ話し足りなかったこともあるかと思えますが、日々の連絡帳等もとおして、子供のために何ができるかなど話し合っていければと思います。

2月、3月は外部の方をお招きして次年度に向けた振り返りの会議も多数ありました。その一つが、先月の中旬に開催した第3回学校運営連絡協議会です。協議会の中では、外部委員の方々に、本校でのESDの取組やICTの活用、年間の学校行事等についてスライドを見ていただきました。委員の方々からは、「児童・生徒一人一人の特性を理解して教育実践につなげている」や「児童・生徒に寄り添っている成果である」などのお言葉をいただきました。本校の取組について振り返る良い機会となりました。

3月に入り、卒業式や修了式まで、授業日が残り少なくなってきました。学年の締めくくりとして、どの学年でも一年間を振り返り、卒業式や修了式に向けて、準備を着々と進めています。あるクラスでは、卒業式までのカウントダウン表示が教室に掲げてありました。



卒業式会場



卒業制作

年度末を迎え、次年度に向けた準備が進んでいます。子供たちのペースに寄り添いながら、生活や学習の見通しをもち、新しい学年を安心して迎えられるよう支援しています。また、教職員も、子供たち一人一人の思いに丁寧に向き合い、よりよい支援や環境づくりに取り組んでいます。

今年度も、保護者・地域の皆さまには、温かい御協力と御理解を賜り、心より感謝申し上げます。次年度も、子供たちが自分らしく輝き、笑顔で過ごせる学校づくりに力を尽くしてまいります。引き続き、御支援のほどよろしくお願い申し上げます。